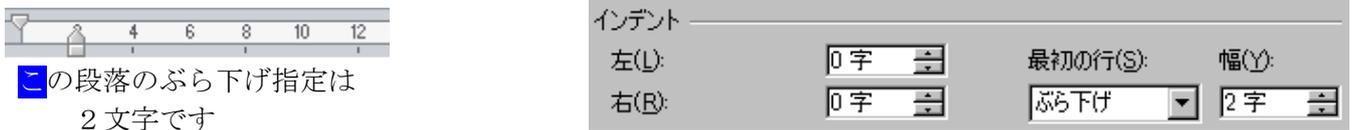


Word2010 で箇条書きを指定したときの場合、上のルーラーを見ても Word2003 で箇条書き指定したときに出る左揃えのタブマークがありません。従って文字列内のタブ記号は「飾り」でしかなく、「箇条書き記号と行頭文字との間隔」と2行目以降の「ぶら下がり」は同時に同一値に指定されることになります。

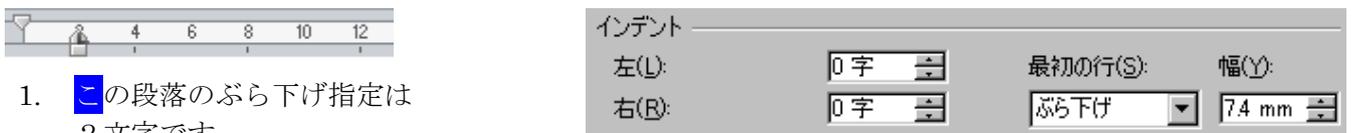
この項では Word2010 での箇条書き（段落番号）の指定方法についての詳細を述べますが、混乱を避けるため行頭文字は標準フォントサイズ（10.5pt）にしています。



この文字列にアイコンで段落番号を適用してみます。そしてその文字列上で右クリックすると「リストのインデントの調整」ダイアログボックスが現れます。インデント欄の 7.4mm というのが 2 行目以降のぶら下げインデント値であり、且つ同時に 行頭文字の位置（段落番号と行頭文字との間隔）になります。

※「番号に続く空白の扱い」欄では「スペース」や「なし」も指定できるので便利です。

さて次に「タブ文字」のときに「タブ位置の追加」にチェックを入れてみましょう。

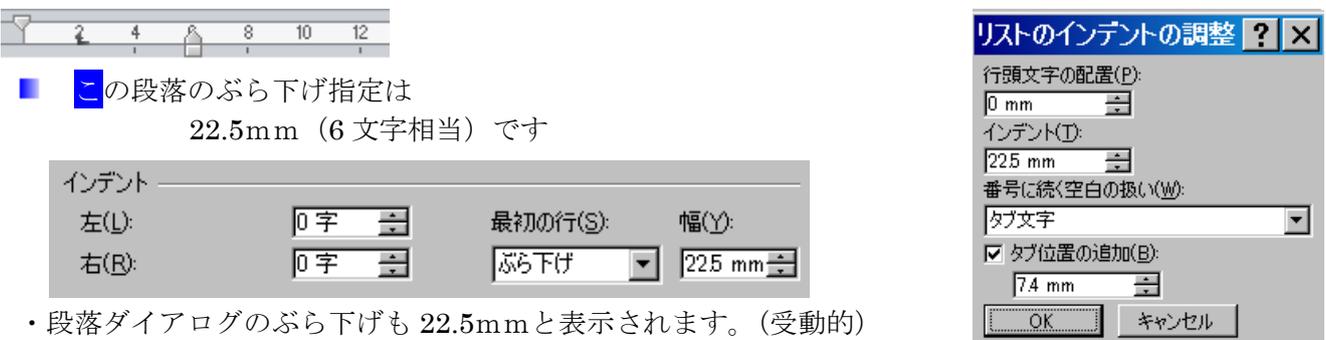


Word2003 で段落番号アイコンを押したときと同じように、ルーラーには左揃えマークが付加されました。

このモードでは、ぶら下げインデントと段落番号と行頭文字の隙間（タブの長さ）の指定が分離できます。

- 2 行目以降のぶらさがりは「リストのインデントの調整」ダイアログのインデント欄で指定できます。段落ダイアログでも「文字数」「mm」いずれでも自由に設定できますが、その場合は「リストのインデントの調整」ダイアログのインデント欄は機能しなくなります。
- 「段落番号と行頭文字との隙間」はタブ位置欄で指定できます。所謂タブの長さ調整です。しかし、インデント欄（ぶら下げ）の値を超えて設定することはできません。また 1 文字ぶん（3.7mm）より小さい値も NG です。

事例：リストのインデントの調整にてインデント：22.5mm、タブ位置：7.4mm



- 段落ダイアログのぶら下げも 22.5mm と表示されます。（受動的）
- タブ位置はほぼ 4mm ~ 22.5mm の範囲で変更が可能です。

※段落番号と行頭文字との隙間調整については、「段落番号と本文の間隔を調整したい.docx」に詳細を記述してあります。